

大学教育における地域文化情報の情報教育への適用

谷口 知司*¹ / 後藤 忠彦*²

<概要>新しい学習指導要領の実施に伴ない、小、中、高等学校の情報教育の新しい体系化が進み、それに対応して大学をはじめとする高等教育における情報教育の体系化が必要になってきている。このため今回、文科系学部に対応した、地域文化情報の情報教育への適用という新しい情報教育体系を構成し、その試行結果について報告する。

<キーワード>大学教育, 高等教育, 情報教育, 新学習指導要領

1. はじめに

学習指導要領の改訂によって、高等学校普通科に2002年から「情報」という科目が新設される。この新教科「情報」は、情報および情報技術を活用するための知識と技能の修得を通して、情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、社会の中で情報および情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てることを目標にしている。

情報活用の基礎的知識と技能に重点を置く「情報A」、情報の科学的理解と問題解決力を中心とした「情報B」、情報通信ネットワークやコミュニケーションの問題を重視とした「情報C」までの各2単位の3科目中、必修科目として1科目を必ず履修しなければならない。

ここでは、この「情報A」～「情報C」までの内容について詳しく分析、記載することは避けるが、そのいずれが選択された場合でも共通する部分が多く、学ぶ内容の比重が異なるということである。これは情報活用能力という点から見て、すべての高校生が基礎的な内容について理解している必要があるためであるが、内容的には、今日までの大学における情報(処理)基礎教育において実施されてきた教育内容のほとんどを網羅するものとなっているため、大学における情報教育のあり方にも少なからず影響を与えることは必至である。

2. 大学の新しい情報教育体系の検討

高等学校における情報教育の新しい体系化によって、全ての高校生が「情報」の知識・

技能を修得して大学に入学するようになる。ただその内容については、網羅的であるがために基礎、基本の域に止まり、またコンピュータを使った実習内容(「情報A」では、総時間数の2分の1以上、「情報B」「情報C」では総時間数の3分の1以上を実習に当てることになっている)も全体の時間数から見て、入門、初歩のレベルであると想定する。

しかしながら全ての高校生が一定のレベルの知識・技能をもって大学等の高等教育機関に入学してくる以上、大学教育における情報教育の中身が今までのままで良い訳がない。

つまり、従来のいわゆる操作教育といわれた日本語ワープロ、表集計、データベース等の操作・利用についての教育を含めて、スパイラル的にその教育の内容、質的な向上が図られるとともに、その基礎の上に各分野での情報内容(コンテンツ)に関する教育が重要となってくるのである。

3. 地域文化情報の情報教育への適用

文科系で、また地域社会に立脚した大学においては、情報内容(コンテンツ)に関する教育を行う場合、地域文化情報をその情報教育に適用することは重要な意味を持つ。

今日、情報内容(コンテンツ)の整理・開発・流通・利用能力のある人材育成は今後の大きな問題であるが、特に文科系の分野で最も要望されている文化情報内容の開発能力のある人材育成は大学教育に課せられた重要な課題であると考えている。

その際、特に学生が情報を考え収集、整理、表現、伝達(通信)等の情報活用の力を育成するには、身近で多様な情報を持つ地域の文

*1 TANIGUCHI, Tomoji : 岐阜女子大学 E-mail=tomoji@gijodai.ac.jp

*2 GOTOH, Tadahiko : 岐阜女子大学 E-mail=goto@gijodai.ac.jp

化データベースの利用が最も適した教材である。

そのため以下4.において示す情報内容(コンテンツ)教育資料としての地域文化情報資料を利用して、5.の構成機器を用いることで、記録項目・検索語の検討、シソーラスの作成、各種資料のデジタル化を含む地域素材データベースの構築、データベースの検索、検索したデータを用いた資料の作成等について、試行的に教育を行ったので、そのプロセスおよび成果について報告することにする。

(岐阜県)

高山市 約3,000件
 河合村 約2,000件
 谷汲村 約2,000件
 その他 約3,000件

(全国)

北海道～沖縄(21県)約6,000件

これらの地域文化情報はフィルム、Photo-CD、MOを媒体としている。

※以上の地域文化情報資料は岐阜県情報化活性化委員会、学習システム研究会等から貸与

4. 地域文化情報資料の内容

- ①県内20施設の所蔵データベース
 各施設約300件,合計約6,000件の画像資料データベース
- ②高山市、河合村、谷汲村等の地域素材データベース(画像中心)



参考 地域文化情報の一例

5. 実習教室の機器構成(マルチメディアデータベース開発室)

